

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

事務事業名	学校図書館教育推進事業	事務事業分類	A 一般事務事業
担当部署名	教育委員会事務局	局	学校教育
		部	学校指導
			課
		事業番号	038-034

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(2) 子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進	
		有	取組の方向性	②新しい時代に必要となる資質・能力の育成				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.1	
		有	取組	総合的な学力の育成				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—		
2	関連計画	■堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン						
3	事業開始年度	平成 19 年度	点検年度	令和 7 年度				
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	■教育基本法、学校図書館法、学習指導要領						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	■市内全小中学校135校					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■本に親しむことをとおして、豊かな心と自ら学ぶ態度を育成できるよう、児童生徒の読書習慣を定着させる。また、調べ学習などの学習センター機能の充実を図る。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	■司書教諭を支援する人材として、拠点校(5校)には学校図書館職員、小・中学校には学校司書を配置し、読書センター機能、学習センター機能及び情報センター機能の充実を図る。また、学校図書館サポーターを活用し、開かれた学校図書館の実現をめざす。 ・司書教諭及び学校図書館担当者、学校司書、学校図書館サポーターに対する研修の実施 ・学校図書館職員・学校司書による小学校巡回訪問の実施 ・小学生全員への読書手帳の配付 ・中学生への読書ノートの配付					
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	■会計年度任用職員					
10	公民連携・協働事業	■セレッソ大阪との読書推進プロジェクト (小学校全児童への読書手帳の提供)					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標		点検年度	
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度		
11 「家や図書館で、普段(月～金曜日)1日当たり30分以上読書をしている」と回答した児童生徒数(割合)	人 (%)	目標値	小6 35.0 中3 25.0	小6 35.0 中3 25.0	小6 35.0 中3 25.0	小6 35.0 中3 25.0		
		実績値	小6 2,138(30.0)	小6 1,966(26.2)				
		達成率	85%	74%				
		当該指標を選定した理由	普段の読書率が事業の達成状況の把握に適切であると判断したため					
目標値の設定根拠・算出方法	令和元年度：全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙 令和2年度：堺市「子どもがのびる」学びの診断児童生徒質問紙							
12 学校図書館来館者数	人	目標値	62,000	120,000	390,000			
		実績値	74,090	109,793				
		達成率	120%	91%				
		当該指標を選定した理由	全小中学校への週2回司書配置により、令和3年度からは小中学校の年間来館者数としている。目標値の設定については、令和2年度の実績値が382,211人であったことから、390,000人とした。					
目標値の設定根拠・算出方法	令和元年度：中学校前期(4月～10月)来館者数 令和2年度：中学校年間来館者数 令和3年度：小・中年間来館者数							

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	学校図書館教育推進事業	事業番号	038-034
-------	-------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

(単位：千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
事業費 (a)	74,497	74,974	91,218	77,841	101,313
13 財源内訳					
国支出金	11,406	11,550	12,309	5,653	9,772
府支出金					
市債					
その他 ()					
受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	63,091	63,424	78,909	72,188	91,541
14 人件費 (b)	3,280	3,240	3,280	3,280	3,280
15 年間経費(c)=(a)+(b)	77,777	78,214	94,498	81,121	104,593

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源			
								R2	決算	R3
16 事業費内訳	会計年度任用職員報酬	R2	決算	40,558	39,439	読書ノート印刷製本費	R2	決算	281	281
		R3	予算	60,434	60,434		R3	予算	0	0
	会計年度任用職員通勤費等	R2	決算	2,187	2,126	読書ノート配送委託料	R2	決算	0	0
		R3	予算	8,930	8,930		R3	予算	680	680
	会計年度任用職員期末手当	R2	決算	1,525	1,525	研修会場等借上料	R2	決算	0	0
		R3	予算	1,525	1,525		R3	予算	120	120
	学校図書館サポーター謝礼金	R2	決算	33,281	28,808		R2	決算		
		R3	予算	29,614	19,842		R3	予算		
	研修会用消耗品費	R2	決算	9	9		R2	決算		
		R3	予算	10	10		R3	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
17 ① 家や図書館で普段（月～金曜日）1日当たり30分以上読書をしていると回答した児童の人数	人	2,138	1,966
② 上記①にかかる年間経費	千円	78,214	81,121
③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	36,583	41,262
備考（算出についての説明等） 令和元年度：全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙 令和2年度：堺市「子どもがのびる」学びの診断児童生徒質問紙			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>■平成29年度からの中学校への学校司書の配置により、学校図書館の環境整備が進み生徒の利用が増加した。令和2年度は4・5月の臨時休業に伴い、目標を達成できてはいないが、小学校においても令和2年度から司書を配置したことにより、利用者が増加することが見込まれる。しかし、読書習慣の定着については、なお課題であり、1日当たりの30分以上読書をしている児童が減少している。SNSや動画視聴の時間が増えていることから、家庭の中で過ごす時間における読書の時間が圧迫されていることが原因の一つと考えられるが、今後読書をするこのよさ等を含めて啓発を行うなど、各学校において学校司書・教員等からの発信を積極的に行う必要がある。</p>
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	<p>■学校図書館における学習センター、情報センター機能を活用した学習の充実により、豊かな心の育成や総合的な学力の向上に寄与する。SDGsターゲット4-6の「子ども読書活動の推進」の達成に向けた取組となっている。</p>
----	--